

# 牛ボツリヌス症対策にワクチンが加わりました！

津山家畜保健衛生所

## 1. はじめに

牛のボツリヌス症は主に Clostridium botulinum が産生する C 型または D 型毒素により発症する病気です。ボツリヌス菌が産生した毒素で汚染された飼料・水を摂取する、あるいは飼料等とともに摂取されたボツリヌス菌が牛体内で産生する毒素が原因となります。

この毒素は、末梢神経に作用して進行性の弛緩性麻痺を引き起こします。主な症状は起立不能、腹式呼吸、嚥下障害、舌の下垂等がみられ、いずれも発症した場合には致死率が高い恐ろしい病気です。対策が遅れ、約 9 割の牛を死産で失った農場の事例もあります。



弛緩性麻痺による起立不能

本症は全国で散発しており、発生も増加しています。岡山県でも昨年 1 月から今年の 8 月までに 4 戸で発生し、大きな被害をもたらしました。

## 2. 予防ワクチンの紹介

平成 21 年 12 月に、「牛クロストリジウム・ボツリヌス感染症トキソイド」

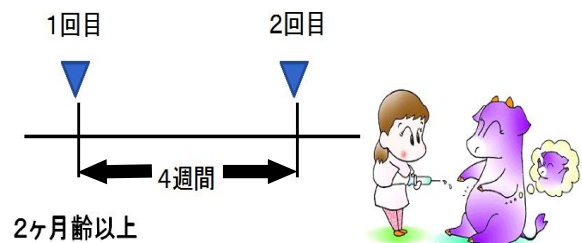
〔商品名：キャトルウィン - BO2（京都微研）〕が動物用医薬品として承認され、現

在、販売が開始されました。

本ワクチンは、C 型および D 型毒素に有効であることが確認されています。

ワクチンプログラムは、2 カ月齢以上の牛の筋肉内に、4 週間間隔で 2 回接種します。ワクチン接種は、(社)岡山県畜産協会で行っています。

### ワクチンプログラム



## 3. 予防・発症した場合の対策

津山家保管内での本症発生事例において、清浄化に成功した農場で実施した対策を次のとおり紹介します。

(1) 牛舎全体を防鳥ネットで覆う。

(保菌の可能性のあるカラスの侵入を防止)

(2) 早期診断・発症牛の処分（焼却）。

(3) 感染源の特定（細菌・毒素の検査）

(4) 牛舎の清掃・水洗・消毒の徹底。

#### 【清掃・消毒のポイント】

ア 有機物を完全に除去する。

イ 反復して牛舎全体を消毒する。

(薬品使用・火災)

ウ 牛舎周辺も消毒する。

(5) 牛舎を細菌検査し、清浄性を確認した後、牛を導入する。

万一、疑わしい症状がみられましたら、最寄りの家畜保健衛生所まで御相談ください。